



## 手作りが彩る「八日市つるし雛まつり」

花巻だより



「わあ〜！すご〜い！！」。扉を開けると、部屋いっぱい飾られた色とりどりのつるし雛とお雛様が迎えてくれるのが、石鳥谷町の「八日市つるし雛」(今年は2/17〜3/3まで、八日市いきいき交流館にて開催)です。2月の半ばも過ぎるとあちらこちらで雛まつり展が開催され、花巻は大迫町の「宿場の雛まつり」が有名ですが、「八日市つるし雛」も穴場的な雛まつりとして人気があります。昨今人気のつるし雛は、全国的には福岡県柳川市の「さげもん」、山形県酒田市の「傘福」、静岡県稲取地区の「雛のつるし飾り」が有名です。そのひとつ、静岡県の稲取を訪れた石鳥谷町の女性が、つるし雛に込められた思いに感銘を受け、始めたのが「八日市つるし雛」とのこと。初節句に段飾りの左右にたくさん飾りをさげ、賑やかに祝いしたと伝えられている「つるし雛」は、直径約40cmの紅白の輪に7個の人形(飾り)が付いた赤い糸が7本つるされ、全部で49個の人形等が飾り付けられています。昔は男性の人生が50年で女性は一歩下がって49年と言われたことからこの数になったという説があるようです。おばあちゃんが可愛い孫の為に、ありあわせの布などで女の子の生活に必要なもの(人形類、野菜、果物、動物、宝物、花、まり等)を作ったと言われております。猿には災いが去る(さる)、草履には早く歩けますように足が丈夫になりますように等、飾り一つ一つに意味があり、一針一針に幼子への願いと愛情を込めて作られた思いを感じます。展示する作品も年々多くなり、つるし雛だけではなく、ステンドグラスや水引で作ったお雛様、珍しい花巻人形(土人形)のお雛様も展示されており、部屋の中央に飾られた大量のつるし雛を下から見上げて見るのも一興です。

つるし雛作りの体験教室もあり、期間中に何度も足を運ぶ方もいるそうです。飾りの前で写真を撮ってもらっている小さな女の子を見て、私もまだ全然想像もつかない孫の為に(子供達がまだ学生なので、まだまだ先の話ですが…)、今から作りためようかと思ってしまうました(笑)。

mama information

マーマインフォメーション



お問い合わせ、変更のご連絡等、  
どうぞ、お気軽にご連絡下さい。

- ・「配達日の変更をしたい」「コースを変更したい」「単品で追加購入したい」、「お友達をご紹介したい」等、お気軽に下記「毎日のお惣菜」頒布会専用デスクまでご連絡ください。尚、変更等のご連絡は、次回メニュー案内に記載されております期日までお願い致します(メール・FAX・ハガキも期日必着です)。メール・FAX・ハガキでのお問い合わせや変更につきましては、こちらから確認のお電話(又は、メール)をさせて頂きます(お電話をお受け頂く事が出来るお時間等も一緒にお教え願えますと幸いです)。

※数日経っても返信等の無い場合は、何らかの理由で弊社に届いていないことも考えられます。お手数ではございますが今一度ご連絡頂きますよう、お願い致します。

- ・出荷日前に、商品発送のご案内とクロネコヤマトの問い合わせ番号をメールでお知らせ出来ます。ご希望の方は、メールアドレスをお知らせください。

お客様からのご連絡をお待ちしております。

マーマフーズ「毎日のお惣菜」頒布会専用デスク

電話



(通話料無料)

0800-800-5837

ごほんみんな

FAX



(通話料無料)

0800-800-0296

おふくろ

Eメール:mama1@mama-foods.com

受付時間/9:00~17:00 月~金(祝祭日、年末年始を除く)